

成人式祝辞（令和4年1月9日）

新成人の皆様、おめでとうございます。また、今日まで深い愛情を持ってお子さんを立派に育て上げられた保護者の皆様、ご家族の皆様にも重ねてお喜び申し上げます。皆さんの表情は、とても晴れやかで眩しくもありますが、皆さんの現在の心境は、大人の仲間入りをすると行った気負いよりは、久々の故郷での旧友との再会に心躍っていると行ったところが本当かもしれない。しかしながら、せっかくの節目でありますので、皆さんが過ごした20年の軌跡を、これまで皆さんを支えてくれたご両親や大勢の方々との出会いに感謝しつつ、思い返して噛みしめていただければ幸いです。

そんな大切な晴れの日ですが、世情をお伝えしながら、話を進めていくこととお許しいただきたいと思えます。まずはコロナ禍の状況です。新型コロナウイルス感染症が収束に向かっているとの判断で、昨年引き続き開催に至りましたが、最近はおミクロン株という新たな変異株により、第6波の到来も懸念されています。厚真町は、幸いにも町民のご理解とご協力のおかげで、今も落ち着いた状況にありますので、感染予防に努めながらこの式を開催していることをご理解ください。

これまでのデルタが部との違いについて、重症化リスクが低いとみて自宅療養も選択肢の一つとした対応を政府が表明しています。そうした中において、厚真町は、一般の方に対する第3回目のワクチン接種を2月中には始める準備を進めているところです。皆さん自身の健康を守るため、ご両親やご家族の命を守るためにも「正しく恐れ、新社会生活様式を守る」ことにご協力くださるよう重ねてお願いします。

さて、皆さんが高校2年生の秋に発生した北海道胆振東部地震から既に3年と4か月が経過しました。厚真町は37名もの尊い命を失いましたが、それでも国や北海道のご尽力、全国から寄せられた物心両面のご支援により、堆積土壌の撤去、急斜面地崩壊対策などの復旧工事も急ピッチで進んでいます。昨年秋には犠牲となられた方々の慰霊碑も建立され、その際にも「私たちは、立ち止まることなく、先人や犠牲となられた方々の夢や希望を引き継ぐ決意」をお誓い申し上げます。1000億円を超える公費の投入、3万人を超える関係職員のご尽力、5千人を超えるボランティアのご協力を決して忘れてはなりません。

これからも、被災により傷ついた心や被災森林の再生には、多くの時間を要することと思えます。被災者の皆さんが心から笑顔を取り戻し、美しいあつまの自然が回復するまで、険しい道のりが続くと思えますが、老若男女の別なく厚真町民が一丸となって、乗り越えていかなければならない試練であると考えています。特に、本日成人式を迎えられた皆さんには、立場や形は

それぞれに違えても、厚真町の復興、新しい未来の創造に若さあふれるエネルギーを是非、お貸しいただきたいと願っています。

ところで皆さんは、2001年から2002年に生まれた新世紀の申し子として、ミレニアム世代に続くZ世代と呼ばれています。インターネット・ネイティブで世代としてIoT, ICT技術を実生活の中へ自然に取り込んでいますが、これからは、社会の様々な課題解決に向けて、AIや高度情報通信基盤の整備がすすむ、超スマート社会（Society5.0時代）を牽引していただき、人間中心社会への実装と地域間格差を埋め、一人ひとりが快適な暮らしを実現するために、大いに活躍していただきたいと願っています。

時間が許せば、皆さんが生まれた年の出来事をゆっくりと覗いてみたいのですが、主催者の視線が厳しくなっていましたので、今の時代につながる重要な出来事のみご紹介させていただきたいと思います。1つは9月11日に起きたアメリカの同時多発テロです。今もって世界秩序が混とんとしている原因のひとつであったと考えています。もう1つは、NPB出身のイチロー選手が新人ながらMLB最優秀選手に輝いた出来事です。その後も多くの選手が挑戦を続けましたが、昨年は、日本ハムファイターズ出身の大谷翔平選手が二刀流で同じく最優秀選手に輝いた出来事は、正に痛快事でした。

改めて申し上げますが、皆さんには2年間にわたるコロナ禍にあって、皆さんが思い描いた新生活に大きな制約を受け、時代の不条理という辛酸を味わっています。そんな皆さんにエールを込めてパワー・フレーズを贈ります。

「置かれている場所で、輝きなさい（最善をつくすこと）」その為にも、誠実さと少しの勇気、広い視野と想像力が必要です。さすれば、必ず道は開けると信じています。話は飛躍するようですが、パンデミックを経験して、再びノーベル賞作家アルベール・カミュ作「ペスト」に注目が集まっています。中心人物の医師ベルナル・リウーが献身的に奉仕する姿と市民の動きが軸となって描かれています。その中で、作者はリウーにこう言わせます。「今後のことは、ヒロイズムなどという問題じゃない。これは誠実さの問題です。ペストと戦う唯一の方法は、誠実さということなのです」古今東西において、人間社会において最も重要な資質は、誠実であるということなのでしょう。

結びに、不屈の魂のように先人から受け継いだバトンが次世代の皆様方に受け継がれることを願い、私たちはこれからも連携して、全力で復旧・復興に取り組んでまいります。少々長くなりましたが、前途洋々たる皆様とご家族の皆様にご多かれとご祈念申し上げ、祝辞といたします。本日は誠にありがとうございます。

令和4年1月9日

厚真町長 宮坂 尚市朗